

講演で「これからの社会で求められる能力とは何か」を語る

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今日の「開倫塾の時間」では、知っている人は知っているのですが、私を含めてそうかなと実感が湧かない人もいらっしゃる話を最初にさせていただきます。
2. 6月28日(日曜日)の読売新聞栃木版の報道によりますと、内閣府が発表した2012年度の県民経済計算では、栃木県の一人当たりの県民所得は300万円で全国7位でした。2012年度は3年前ですが、これが最も新しい数字だそうです。2011年度は8位でしたので、7位に前進したことになります。県民所得は、雇用者報酬や企業所得などを合計した額です。前年度とあまり変わらなかったのですが、人口がやや減ったために一人当たりでは1万円増えたということです。
3. 栃木県は素晴らしい県で、県民所得が全国7位に上がりました。これを押し上げたのは雇用者報酬、つまり雇われている人の報酬です。一人当たり497万円で、前年度の477万円から20万円増えました。順位も前年度の5位から1つ上げ、何と全国4位となりました。これは、過去最高の順位です。県の統計課は、栃木県には大企業の事業所や工場が集積していて、その業績が好調だったためではないかと見ているそうです。
4. 県民所得は全国7番目、雇用者報酬は全国4番目と言われても、果たしてそうなのかなかなか実感が湧かないと思います。ただ、栃木県はこのように豊かな県であるということを皆様にお伝えしたいと思います。これはとてもよいことですので、今後もっともっとよくしていただき、豊かな栃木県を皆さんと一緒に作っていけると有難いなと思います。

栃木県は非常に地味な県だと言われていますが、そんなことはありません。県民所得は全国7位、雇用者報酬は全国4位ですから、本当に素晴らしく豊かな県です。ですから、自信を持ち、胸を張りたいと思います。ただ、この豊かさをどのように使うかがもっともっと大事だと思います。是非皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。
5. 話は変わりますが、6月26日(金曜日)に、東京都の教育委員会の中にある産業教育振興会から依頼されて、工業高校・商業高校・農業高校・高等専門学校などの校長先生の皆様50名ぐらいに

お話を少しさせていただきました。次は、その紹介をさせていただきます。今、教育改革が叫ばれ、産業教育といいますが、工業高校・商業高校・農業高校などの職業高校や高等専門学校をどのようにするかということが盛んに議論されています。そこで、「これからの社会で求められる能力とは何か。一企業が産業教育に期待すること」というテーマで1時間半お話をするように依頼がありましたので、東京都新宿区の全商会館でお話をさせていただきました。

6. 私が話した内容は、一人ひとりには必ず自分のよさや潜在能力があるので、それを自分の力で見出し、自分の力で伸ばすこと・自覚を持って学ぶこと・自分から進んで積極的に学ぶ、主体的に学ぶという意味での学力を身に着けること・課題を自分の力で発見して、自分の力で解決をする能力を身に着けること・今までやってきたこと、今やっていること、これから行おうとしていることの価値や意味を自分の力で考え、その上でやってよいこととやってはいけないことを自分で決めて、自分たちのルールに従って行動する、つまり自分自身を律しながら行動する能力を身に着けること、これらを産業教育の中で培ってもらいたいということです。

7. これらが培われていると、社会に出たときに役立ちます。例えば、自分の会社のよさや潜在能力を見出して、仲間と一緒に伸ばし、そこに自分のよさや潜在能力をうまく組み合わせれば、素晴らしい仕事ができ、会社や組織も伸びます。自覚を持って学ぶことを学生のうちからやっていると、自覚を持って働く・自覚を持って社会的な活動をすることができるようになりますので、これも非常に有難いことです。仕事について勉強することは山ほどあります。ですから、自分から進んで積極的に学ぶ・主体的に学ぶという意味での学力が身に着いていると、仕事について自分から進んで主体的に学ぶことができるようになって、よい仕事ができます。仕事の上でも様々な課題が毎日のように出てきますので、何が課題かを自分で探して、自分の手で解決をする。また、会社の仲間、いろいろな役所や組織の仲間と一緒に自分たちの会社、役所、組織の課題を発見し、自分たちの手で解決をする。これも大切な能力だと思います。最終的には、今やっている仕事や活動、これから行おうとする仕事や活動について、その価値や意味を自分たちの力で考えて、何のためにこの仕事や活動をするのかをよく考え、この仕事や活動をする上でやってよいことと悪いことを自分たちで決定し、自分たちのルールに従って自律的に、自分自身を律しながら行動する。このようなことができれば、素晴らしい会社ができるし、仕事や活動もできるのではないかというお話をさせていただきました。

8. これからの社会で求められる能力とは何かについて、東京都の職業高校や専門高等学校の校長先生方 50 名に対してお話しした内容を紹介させていただきました。皆様はどのようにお考えでしょうか。是非お子様と一緒にお考えいただければと思います。